

亶理町立郷土資料館年報

第24号
(令和3年度)



亶理町悠里館

亶理町立郷土資料館

宮城県亶理郡亶理町字西郷 140 番地
電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709
E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp

はじめに

平成6年10月に開館した亘理町立郷土資料館は、令和3年度で27周年を迎えました。

今年は、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、ウイルスと共存しながらの生活に変化していきました。そのような中、施設を運営する側としては、感染拡大防止対策、施設の臨時休館及びイベントの内容変更等を行いながら、いかに来館者の皆様に安心してご満足いただける場を提供することができるかを考えさせられる1年となりました。

夏のテーマ展では、第32回オリンピック競技大会・東京2020パラリンピック競技大会を記念して、収蔵している過去大会のポスター公開や町内出身のオリンピックを紹介し、今大会の聖火リレーで使用されたトーチなどを展示したことで、多くの方々にご観覧いただきました。

春のテーマ展では、「WATARI TRIPLE[C]PROJECT」のメンバーである地域おこし協力隊員のアーティストが、亘理町で制作した作品、亘理町を訪れる前に制作した作品などを展示し、活動報告を併せたアート展を開催したところ、昨年比2倍となる大勢の方々に現代アートを楽しんでいただきました。

令和4年3月にJR東日本常磐線の亘理駅東口が新設されたことに伴い、東口エレベーターも新設され、駅周辺のバリアフリー化が完了しました。複合施設でもある悠里館としても、さらに施設利用者の皆様に快適にお越しいただける環境が整ったと感じております。

郷土資料館では、亘理町の歴史や受け継がれてきた人々の暮らしぶりを後世に伝えるため、なお一層、資料の収集や調査・研究を重ねていきたいと思っております。また、その成果をより多くの方々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んでいきたいと考えております。今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和3年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

令和4年7月

亘理町立郷土資料館

館長 齋藤 伸

目 次

1	令和3年度の主な事業と活動	1
2	組織・運営	
	〔1〕 組織図・職員構成	2
	〔2〕 事務分掌	2
3	展示	
	〔1〕 常設展示	3
	〔2〕 テーマ展示	3
	〔3〕 収蔵資料展示	5
	〔4〕 エントランスミニ展示	6
4	教育・普及	
	〔1〕 講座等	6
	〔2〕 学社融合推進事業	8
	〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業	8
	〔4〕 オープンミュージアム	9
	〔5〕 学校教育関連	9
	〔6〕 刊行物等	10
	〔7〕 博物館実習	10
	〔8〕 その他	11
5	資料の収集・保管	
	〔1〕 収蔵資料	12
	〔2〕 寄託資料	13
	〔3〕 常設展示借用資料	14
	〔4〕 資料貸出	14
6	観覧者数の推移	
	〔1〕 令和3年度月別観覧者数	14
	〔2〕 年度別観覧者数	15
7	予算	15
8	職員名簿	15
9	利用案内	16

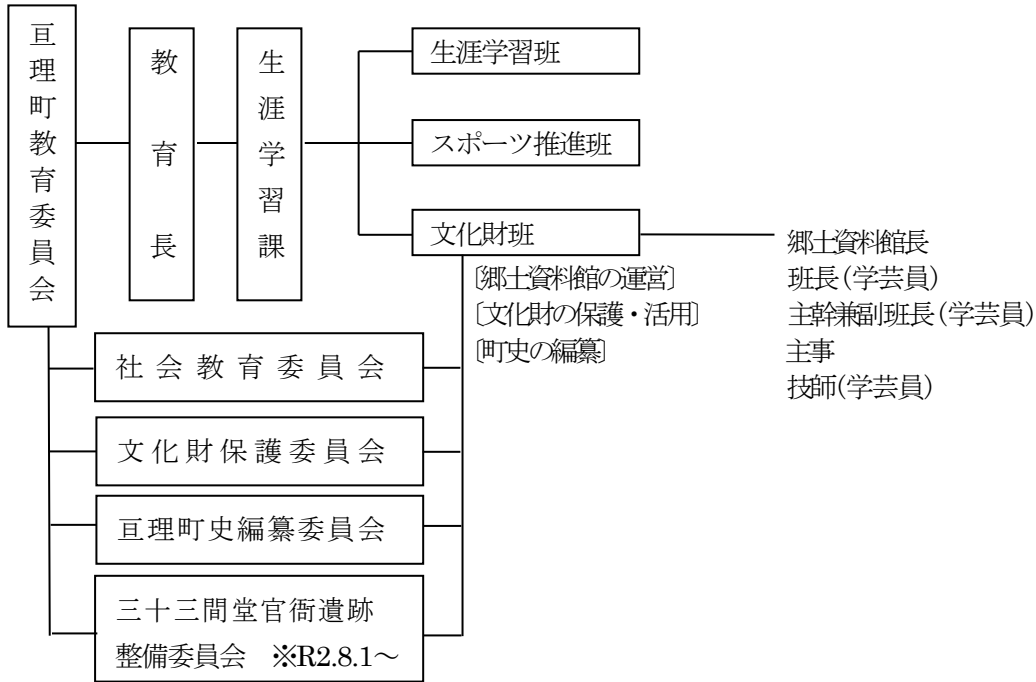
1 令和3年度の主な事業と活動

R3.	4	広報紙「郷土しりょうかん」第156号発行
	4/24～6/20	第24回収蔵資料展
	4/29～5/5	ゴールデンウィーク特別開館事業
	5/29～R4. 2/10	エントランスミニ展示(期間中6つのテーマで展示)
	6/28	宮城県南資料館等連絡協議会総会(書面開催)
	6/29	宮城県博物館等連絡協議会総会(多賀城市)
	7	広報紙「郷土しりょうかん」第157号発行
	7/9	学社融合推進事業「亘理用水学習会」学芸員派遣(逢隈小学校)
	7/17～8/26	夏のテーマ展「スポーツの祭典! ～ポスターでたどるオリンピックと聖火リレー in わたり～」
	7/21～8/22	夏休みちょこっと体験
	8/16	「伊達成実霊屋」御開帳スタンプラリー
	8/17～21	博物館実務実習
	8/21	夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」
	10	広報紙「郷土しりょうかん」第158号発行
	10/2～11/21	秋のテーマ展「被災資料が語る亘理荒浜～江戸家文書にみる明治・大正～」
	11/3	文化の日特別開館「オープンミュージアム」
	11/13	郷土資料館町民講座『ものしり大学院』
	11/18	宮城県南資料館等連絡協議会第1回役員会(書面開催)
	11/18	学社融合推進事業「亘理用水学習会」学芸員派遣(亘理小学校)
	11/25	宮城県博物館等連絡協議会第1回研修会(多賀城市)
R4.	1	広報紙「郷土しりょうかん」第159号発行
	1/16	「伊達成実霊屋」御開帳 (※トンガ諸島の火山噴火による津波注意報発令のためスタンプラリー中止)
	2/12～3/13	東日本大震災11周年企画「わたり復興の歩み」上映会 (毎週土曜・日曜・3/11上映)
	2/18	学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(高屋小学校)
	2/19～3/13	春のテーマ展 WATARI TRIPLE[C]PROJECT アート展 vol.1 「アーティストから見た亘理～アートで始まるまちづくり～」
	2/19～3/17	「亘理伊達家雛人形公開とコロナ退散! つるし雛展」
	2/22	宮城県南資料館等連絡協議会担当者研修会・第2回役員会(柴田町)
	3/9. 10. 11. 16	年中行事講座「五月人形(よろい&兜)づくり体験会!」 (亘理町シルバー人材センター共催)
	3/22	宮城県博物館等連絡協議会第2回研修会(多賀城市)
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月27日～9月12日の期間を臨時休館	
	※亘理駅バリアフリー整備工事のため、令和4年3月1日～3月4日の期間を臨時休館	

2 組織・運営

〔1〕 組織図・職員構成

令和3年4月1日現在

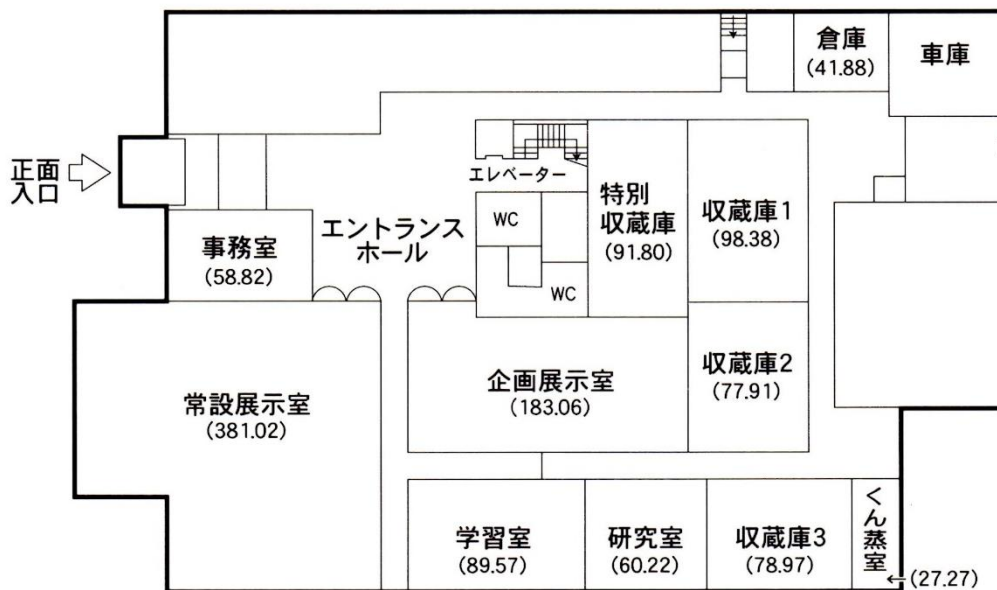


〔2〕 事務分掌

文化財班(郷土資料館)

……………管理運営・公印管理・文書の收受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・
資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営

資料館平面図



※ () 内は面積、単位は㎡

3 展 示

〔1〕 常設展示

亙理伊達家雛人形公開・コロナ退散！つるし雛展

期 間 令和4年2月19日(土)～3月17日(木)
開館日数 18日 ※3月1日～3月4日まで臨時休館あり
会 場 常設展示室、悠里館1・2階エントランスホール
観覧者数 862人 1日平均48人(常設展示のみの人数)

【展示内容】

- ◎常設展示室(入口・亙理伊達家コーナー)
輪飾り19本、石川家伝来亙理伊達家古今雛一对・婚礼調度品6点
- ◎悠里館1階エントランスホール(悠里館出入口)
輪飾り等13本(鈴木房子氏:寄贈、白井秀子氏:借用 外)
- ◎悠里館2階エントランスホール(カフェ♡悠里前等)
傘福5本(緋縹会那智が丘すみれ様:作製)
7本輪飾り10本(布あそびサークルはまなす様:作製)、人形23体



▲亙理伊達家雛人形とつるし雛

〔2〕 テーマ展示

夏のテーマ展「スポーツの祭典！～ポスターでたどるオリンピックと聖火リレー in わたり～」

期 間 令和3年7月17日(土)～8月26日(木)
※当初9月5日(日)までの会期であったが宮城県に緊急事態宣言が発令され、8月27日(金)～9月12日(日)臨時休館措置がとられたため期間短縮となった。

開館日数 31日
会 場 企画展示室
観覧者数 589人 1日平均19人

【趣 旨】

第32回オリンピック競技大会・東京2020パラリンピック競技大会を記念して、収蔵している第1回大会(アテネ)から第21回大会(モントリオール)までのポスターをとおして、近代オリンピックのはじまりとその精神を知り、オリンピックについて考える機会とする。併せて亙理町出身のオリンピック競技大会出場選手と、当初復興五輪と位置付けられ東日本大震災被災地の亙理町内で行われた聖火リレーについて紹介し、復興の様子も伝える機会とした。16品目45点の資料を展示した。

【展示内容】

- ◎「オリンピック・パラリンピック」コーナー
展示物…東京2020オリンピックアートポスター「動線」(大原大次郎)、
東京2020パラリンピックアートポスター「神奈川沖浪裏上空」(荒木飛呂彦)
- ◎「ポスターでたどる近代オリンピック」コーナー
展示物…オリンピックポスター、オリンピックのサイン色紙(個人、参加者全員)、
オリンピックデー・フェスタ in わたりの様子(写真資料)



▲トーチとユニフォーム

◎「希望の道を、つなごう i n わたり」コーナー

展示物…東京2020オリンピック聖火リレートーチ、ユニフォーム、応援グッズ
東京2020オリンピック聖火リレー i n わたりの様子(写真資料)
イスラエルの国旗、復興「ありがとう」ホストタウン協定書(複写)
イスラエルの紹介[エルサレム、タボル山、ネゲヴ砂漠](写真資料)ほか

秋のテーマ展「被災資料が語る亙理荒浜～江戸家文書にみる明治・大正～」

期 間 令和3年10月2日(土)～11月21日(日)

開館日数 43日

会 場 企画展示室

観覧者数 767人 1日平均18人

【趣 旨】

江戸家は、明治初期に「江戸清」の屋号で商売を営む荒浜きっての資産家であり、四代目清吉氏(1884-1938)のコレクションは貴重な資料として知られていた。これらは、東日本大震災(2011)で多くが被災し、文化財レスキュー活動によって救出され、郷土資料館で保管している。

これまでは美術作品や文学作品に関わるコレクション資料を中心に公開してきたが、今回は荒浜地区に関わる文書や記録、江戸家の商売や暮らしぶりに関わる書類などから地域住民だけでなく一般の方にも興味がわく資料を取りあげ、荒浜地区の歴史をみることにした。実物資料35点、写真資料13点を展示した。

【展示内容】

◎「文化財レスキューと江戸家資料」コーナー

展示物…夏目漱石『文鳥』原稿、シェイクスピアの翻訳本(坪内逍遙訳)、齋藤茂吉はがき
池上秀敏筆「秋草」、竹久夢二画「冬の景色」、文化財レスキューの様子(写真資料)ほか

◎「資料は語る」コーナー

展示物…亙理郡荒濱村字上東新田繪図、亙理郡荒濱村字上水倉繪図、亙理郡荒濱村字名
小学校立木伐採事件録、コレラ発生にともなう村内清掃通知、赤痢病にともなう祭礼見合せ通知
流燈寄附人名簿、三陸地震津波支援願い状、稲荷大神守護所 川口神社祈祷守符
蚕(養蚕)安全祈祷守札、江戸清吉日記、八百膳 料理秘法録ほか



▲文化財レスキューの様子と江戸家資料

春のテーマ展 WATARI TRIPLE [C] PROJECT アート展 vol. 1

「アーティストから見た亙理～アートで始まるまちづくり～」

期 間 令和4年2月19日(土)～3月13日(日)

開館日数 15日 ※3月1日～3月4日まで臨時休館あり

会 場 企画展示室

観覧者数 840人 1日平均56人

共 催 WATARI TRIPLE [C] PROJECT

【趣 旨】

「WATARI TRIPLE [C] PROJECT」(ワタリトリプルシーブプロジェクト)は、三つのC「Cultivate」養う・培う・耕す、「Culture」文化、



▲キムテボンさんの作品

「Challenge」挑戦するから構成され、東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸部の鳥の海を中心に「防災から文化を創り出す」をテーマに行われている事業である。メンバーである地域おこし協力隊員が、それぞれの活動をとおして地域を知り、地域とつながり、その中で得られた町の魅力を、アーティストの視点で創りだされた作品をとおして知る機会とし、町内外に発信することとした。

【アーティストと展示作品】

- ◎相澤安嗣志 氏…鉄塩の化学反応を利用した写真技法のサイアタイプを使った作品、鉄錆で花を咲かせた作品
- ◎久保田沙耶 氏…「わたりに舟」、亶理町で制作した絵画とスケッチブック
- ◎市原えつこ 氏…「都市のナマハゲ」、古くから語り継がれる亶理町の民話について
- ◎力石 咲 氏…亶理町で開催した毛糸ワークショップの報告、今後の亶理での作品構想
- ◎岩村 寛人 氏…今後の亶理での作品構想
- ◎キムテボン 氏…実際に見に来た人が入れて楽しめるショーケース「ドリームキャッチャー」
- ◎富士田玲奈 氏…亶理町民の思い出の場所やストーリーを可視化した「感情マップ」

〔3〕 収蔵資料展示

「第24回収蔵資料展」

期 間 令和3年4月24日(土)～6月20日(日)
 開館日数 49日
 場 所 企画展示室
 観覧者数 655人 1日平均14人



▲家庭用ゲーム機

【趣 旨】

平成6年10月に亶理町立郷土資料館を開館して以来、収蔵資料は年々充実し、現在では約15,000点を超える資料を収蔵し、調査研究を進めている。これに伴い、亶理の歴史や文化を考える上で重要な資料でありながら、展示テーマや展示場所の制限上公開される機会の少ない資料が増加したため、平成8年度から年度ごとに順次展示公開している。

24回目となる今年度は、平成30年4月度に収集した歴史民俗資料で、おもなものとして昭和後期から平成初期の家庭用ゲーム機を中心とするおもちゃのほか、当時のくらしぶりを伝える35品目58点の資料を展示した。

【展示内容】

平成30年度に寄贈を受けた資料を分類項目ごとに展示した。総展示数は58点。

項 目	点 数	項 目	点 数	項 目	点 数
衣・食・住	7	人の一生	3	文書・書籍・地図	6
交通・運輸・通信	1	年中行事	3	亶理伊達家・家中	1
民俗知識	1	交易	1	信仰	1
競技・娯楽・遊戯	22	軍事・戦争	7	社会生活	4
写真	1				

〔4〕 エントランスミニ展示

今年度は施設利用者の方々が展示に興味を持っていただく機会を増やすため、悠里館1階(郷土資料館事務室前)のエントランスホールでミニ展示を行った。

【展示内容】

- ◎「時の記念日」展 令和3年5月29日(土)～6月24日(木)
展示物…置時計、懐中時計、腕時計、柱時計
- ◎「海の日」展 令和3年6月26日(土)～8月5日(木)
展示物…定置網船の模型、一貫丸の模型、魚鉤、延縄鉤ほか
- ◎「お盆」展 令和3年8月6日(金)～8月26日(木)
展示物…高灯籠、切り子灯籠、迎馬ほか
- ◎「防災週間」展 令和3年8月28日(土)～10月28日(木)
展示物…非常用持出袋、防火デーチラシ、入選防火標語一覧ほか
- ◎「お米と暖房」展 令和3年10月30日(土)～12月23日(木)
展示物…羽釜、蒸籠、湯たんぽ、火鉢、カイロ
- ◎「新年の行事」展 令和3年12月25日(土)～令和4年2月10日(木)
展示物…硯箱、書道道具、文鎮、注連縄、年縄ほか



▲「防災週間」展の展示物



▲「お米と暖房」展の展示物

〔5〕 その他

常設展示室の検索システム更新を行った。また、令和3年2月13日発生の福島県沖地震により被害が出た、「亘理要害屋敷并館下絵図」ブース壁の修繕を行った。

4 教育・普及

〔1〕 講座等

1. 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」

町内小学校児童を対象に郷土資料を活用して亘理の歴史・文化を理解し、もの作りの体験をとおして先人の知恵にふれて考え、他校児童との交流による仲間作りを目的として開催した。募集は、小学校をとおしてチラシを配付した。

日時 令和3年8月21日(土) 午前10時～12時

会場 学習室

参加者 14人

材料費 200円

内容 亘理町に数多く存在する横穴墓や、そこから出土した刀や勾玉などの副葬品についての講話後、実物資料を観察しながら実際に勾玉を作った。



▲滑石を削って勾玉を製作する参加者

2. 年中行事講座「五月人形(よろい&兜)づくり体験会！」

(公社)互理町シルバー人材センターとの共催により、古布を使って世界に一つだけの五月人形(よろい&兜)づくりをとおして、日常生活ではなかなか味わうことが難しくなった潤いとやすらぎのある暮らしをめざすとともに受講生の親睦を図ることを目的に開催した。

日 時 令和4年3月9日(水)～3月11日(金)、16日(水)

午前9時30分～午後0時30分

講 師 織縹会 那智が丘「すみれ」

代表 伊藤 かをる 氏 外2名

場 所 中央公民館

受 講 者 28人(7人×4日)

材 料 費 1,500円

内 容 端午の節供についての講話後、古布で五月人形を製作した。



▲指導を受けながら製作する受講者

3. 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」

平成15年度から開催しているこの事業は、「郷土の歴史と文化」を中心にテーマを設定し、歴史・考古・民俗・自然などさまざまな分野の研究者を講師として招いて講座を開催してきた。

今回は秋のテーマ展に関連付けた内容で被災資料から見えてきた町の歴史をテーマに講演会を行った。

テ ー マ 「被災資料から見つめる互理の歴史」

日 時 令和3年11月13日(土) 午後1時30分～3時30分

会 場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)

講 師 天野 真志 氏(国立歴史民俗博物館 研究部 特任准教授)

聴 講 者 41人(事前申込制・定員60人)

※感染症対策として、人数制限、申込制とした。

内 容

講師の天野氏がこれまで精力的に進められてきた古文書調査や前職の東北大学災害科学国際研究所所属時の文化財レスキュー活動、互理町の被災資料の調査・研究成果から見える互理の歴史について、講話いただいた。なかでも、荒浜地区を中心とする事業・商売・生活等に関わる資料の調査・整理から見えてきた、明治・大正・昭和時代の互理の歴史を学ぶ機会とした。



▲ものしり大学院 講演の様子

4. 夏休み教育普及事業「郷土資料館ちょこっと体験」

普段は見ることはできない郷土資料館展示室で、夏休み期間に様々な体験を行うことで、郷土資料館や町の歴史に対する興味・関心を向上させることを目的として行った。

期 間 令和3年7月21日(水)～8月22日(日)

会 場 常設展示室

内 容 ①切り絵に挑戦してみよう：しげぎねくんと互理伊達家家紋の切り絵に挑戦

②ぬり絵に挑戦してみよう：わたりんのぬり絵に挑戦

③折り紙に挑戦してみよう：かざぐるまとメダルの折り方に挑戦

④クイズに挑戦してみよう：夏のテーマ展に関連付けた内容のクイズに挑戦

〔2〕 学社融合推進事業

平成12年度から行っている事業で、町内小学生を対象に職員が学校に出向くなどして、総合学習や社会科の授業の中で亘理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料にふれ、使用する体験によって、より一層の学習効果を上げながら収蔵資料の有効活用を図っている。

1. 出前講座「移動しりょうかん」

「昔の道具とくらし」

- 実施校 高屋小学校(家庭科室)
 実施日時 令和4年2月18日(金)
 午前10時35分～11時20分
 参加人数 13人(3年生)※リモート1人
 内 容 「炭火アイロンがけ」
 「天秤棒を使った桶担ぎ」
 「洗濯板を使った洗濯」
 などを体験した。



▲炭火アイロンを体験する児童

2. 学芸員の派遣

社会科「亘理用水」に関する学習会

- 実施校 2校(6クラス)
 参加人数 216人



▲亘理用水学習会の様子

実施校	月 日	時 間	場 所	参加人数	内 容
逢隈小学校 4年生 (3クラス)	7/9 (金)	10:30 ～12:00	逢隈小学校 体育館	107	・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土背負箱)など用水を作ったときの道具やジャバラなど農作業の道具を展示した。
亘理小学校 4年生 (3クラス)	11/18 (木)	10:30 ～12:00	亘理小学校 体育館	109	・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦勞を推察させた。

3. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

- ◎逢隈小学校 民具室(平成15年8月リニューアル)の継続
 ◎荒浜小学校 民俗資料室(平成15年9月新設、平成26年9月1日再開)の継続

〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業

郷土資料館・図書館の利用促進を目的とし、ゴールデンウィーク期間中の祝日をすべて特別開館日とした。連休中の観光スポットの一つとして、家族連れの来館が多く見受けられた。

日 時 令和3年4月29日(木)～5月5日(水)

観覧者数 111人 1日平均19人

内 容

◎チャレンジクイズ

常設展示室内の内容のクイズ(初・上級)にチャレンジして、正解した方にオリジナルの缶バッジをプレゼントした。

〔4〕 「オープンミュージアム」

互理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、体験コーナー、クイズ、郷土芸能演舞会とDVD上映を行った。

日 時 令和3年11月3日(水・文化の日) 午前9時～午後4時30分

場 所 郷土資料館(常設・企画展示室、学習室、エントランスホール)

観覧者数 常設展示…63人 企画展示…63人

内 容

◎郷土芸能演舞会

1階エントランスホールにおいて、互理町指定無形民俗文化財の「互理杵取り舞」を保存会員とともに吉田小学校3年生5名が披露した。終了後、互理町指定無形民俗文化財の「牛袋法印神楽」と東日本大震災の復興の様子をまとめた「わたり復興のあゆみ」のDVD上映を行った。

◎チャレンジクイズ

常設展示室の内容のクイズ(初・中・上級)にチャレンジして、正解した方にオリジナルの缶バッジをプレゼントした。

※中級は職場体験の逢隈中学校生徒が作成。

◎体験コーナー

各種体験コーナーを設置した。

- ①ぬり絵をやってみよう
- ②紋切り(切り紙)をやってみよう
- ③昔の遊びをやってみよう



▲郷土芸能演舞会の様子



▲チャレンジクイズに挑戦中

〔5〕 学校教育関連

1. 文化財めぐり

町教育委員会が、町の歴史への理解を深め、文化財保護意識の高揚を図るために実施した。町内の文化財と郷土資料館を希望校の小学6年生(11クラス297人)と教職員13人が郷土資料館職員の解説を聞きながら見学した。コロナ対策のため、見学箇所を減らし、郷土資料館見学の行程から教室で映像やスライドによる学習に変更して実施した。



▲見学の様子 大雄寺山門



▲教室での映像学習の様子

学 校 名	学級数	見学人数	見 学 日
亘理小学校	4	129	6月2日、3日、10日、11日
荒浜小学校	1	19	5月14日
吉田小学校	1	14	6月9日
長瀬小学校	1	28	6月17日
逢隈小学校	3	109	5月7日、12日、13日
高屋小学校	1	11	6月23日

2. 修学旅行・社会見学

来館日	来 館 者	来館者数	来 館 目 的
8. 3	放課後楽校 in よしだ	34	郷土の歴史に関心を高める
12. 14	北海道江別高校	6	修学旅行での見学

3. その他

来館日	来 館 者	来館者数	来 館 目 的
8. 5	亘理町内配属新任教職員	9	博物館見学学習
8. 14	東北学院大学考古学ゼミナール	23	博物館見学実習
10. 27	逢隈中学校生徒	2	職場体験学習

〔6〕 刊行物等

『郷土しりょうかん』第156号～第159号

広報紙としてA4判4ページ(A3判二つ折)を4・7・10・1月の年4回発行。

〔7〕 博物館実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月17日(火)～8月21日(土)の5日間 ※コロナ禍のため1日短縮して実施

実習生 石巻専修大学理工学部生物科学科4年生1人

東北学院大学文学部歴史学科3年生2人 計3人

- 実習内容
- 1日目：ガイダンス、施設の概要説明・見学庶務管理及び運営について(講話)、資料の収集・保管までの経過とその現況、資料クリーニング作業
 - 2日目：文化財保護行政について(講話)、文化財めぐり、資料の計測、保管作業、被災資料について(講話)、被災資料のクリーニング作業
 - 3日目：埋蔵文化財保護行政について・考古資料の取り扱いについて(講話)、資料整理、くん蒸済資料の整理作業等
 - 4日目：企画展示立案・展示方法(講話)、ミニ展示の立案、資料ピックアップ、教育普及事業について(講話)、夏休み子ども講座の準備、勾玉の製作体験
 - 5日目：夏休み子ども講座の準備、受付作業、講師補助、企画展示作業、展示解説、実習のまとめ



▲実習生による被災資料の保管作業

〔8〕 その他

1. 講師派遣

◎株式会社ホテル佐勘従業員向け研修

5月21日(金)・5月28日(金) 伝承千年の宿 佐勘 2階「辻が花」

講師：班長 武田恵美 「亙理町の歴史」

◎新任教職員文化財めぐり

8月 5日(木)

講師：主事 橋本和樹 「大雄寺・称名寺・三十三間堂官衙遺跡・郷土資料館」の現地説明

◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」

10月 8日(金) 農村環境改善センター 多目的ホール

講師：主幹 鈴木朋子 「遺跡にみる亙理の歴史」

◎まちづくり出前講座

10月27日(水) 亙理町立図書館 会議室

講師：班長 武田恵美 自分のためのちょこっと study カフェ第6回 亙理の歴史「まちの歴史あれこれ」

◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」

11月12日(金)

講師：主事 橋本和樹 「初代亙理領主伊達成実公とまちの文化財」※現地説明

◎亙理郷土史研究会地区委員研修会

11月17日(水) 亙理町中央公民館 大ホール

講師：班長 武田恵美 「オカイコサマを育てる暮らしー亙理の養蚕と信仰ー」

◎大崎市松山文化財愛護協会視察移動研修

11月25日(木)

講師：班長 武田恵美 「大雄寺」の現地説明

◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」

12月10日(金) 農村環境改善センター 多目的ホール

講師：班長 武田恵美 「オカイコ様を育てる暮らしー亙理の養蚕ー」

◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」

令和4年1月14日(金) 農村環境改善センター 多目的ホール

講師：技師 森田健太郎 「歴史から学ぶ亙理の災害」

2. 視察研修等の受入れ

◎松山文化財愛護協会視察移動研修 令和3年11月25日(木) 18人

◎北海道当別町長ほか視察移動研修 令和3年12月 3日(金) 4人

5 資料の収集・保管

〔1〕 収蔵資料

1. 資料内訳

資料点数の()内の数字は令和3年度新規収蔵資料

(1) 考古資料：118点(1)点

常設展示展示資料：114点

※ このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。

(2) 歴史民俗資料 5,117(181)品目 14,061(314)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料 : 1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～令和3年度)の収蔵資料：4,091品目 12,260点

《平成6～令和3年度収蔵資料分類内訳》

分類項目	点数	分類項目	点数	分類項目	点数
1 衣・食・住	1,626	7 民俗知識	1,882	12 亙理伊達家・家中	141
2 生産・生業	837	8-1 民俗芸能	9	13 軍事・戦争	407
3 交通・運輸・通信	367	8-2 競技・娯楽・遊戯	1,597	14 文書・書籍・地図	1,255
4 交易	2,132	9 人の一生	161	15 美術	737
5 社会生活	757	10 年中行事	168	16 その他	69
6 信仰	113	11 口承伝承	2		

(3) 写真・映像等資料 563(7)品目 1,177(8)点

写真：506品目861点(6) 映像・音声：18品目274点(2) 絵・図：39品目42点

(4) その他(化石など) 9品目83点

(5) 教育普及用 4点

2. 寄贈資料

26人 186品目 319点

No.	寄贈者名	地区	主な資料名	品目	点数
1	菊池 優喜	亙理町(下茨田)	結婚披露宴関係資料	1	3
2	結城 寿栄子	亙理町(下郡)	人事事務整理調査表 ほか	73	99
3	佐藤 富夫	岩沼市	CD「川村孫兵衛」トミー佐藤	1	1
4	岡元 銈吾	亙理町(祝田西)	記念盃(除隊記念)	1	2
5	菅原 一也	栗原市	永田万吉書簡	1	1

6	相澤 良雄	仙台市	水兵写真	1	1
7	大和 ちづ子	亶理町(下茨田北)	算盤、電気スタンド、晴着、羽織	4	4
8	千石 一夫	亶理町(上郡)	恩賜郷倉(上郡郷倉)菊紋粹	1	1
9	庄司 敏彦	亶理町(神宮寺)	石斧	1	1
10	関 正敏	千葉県富里市	亶理秘録	1	1
11	鈴木 房子	亶理町(下茨田北)	つるし雛輪飾り、ほおずきつるし輪飾り	2	15
12	星 義洋	亶理町(上町南)	婚礼膳、竹とんぼ	74	119
13	齋藤 秀子	亶理町(館南上)	数珠	1	1
14	保科 則夫	亶理町(南町北)	亶理町中心図、全国鉄道地図	2	2
15	三浦 馨子	亶理町(下茨田南)	賞状(俳句大会入賞)	1	1
16	胎蔵院不動講		不動護摩祈祷会御札	1	7
17	個人		写真(佐藤脩亮)	1	1
18	個人		写真(亶理町公民館)	1	1
19	個人		郵便はがき、絵はがき	2	2
20	個人		オリンピックサイン色紙	1	4
21	個人		一斗枰	1	1
22	団体		鉛筆削り、印鑑ケース	2	9
23	亶理町総務課		CD「亶理の潮風に吹かれて」みるいみな	1	1
24	亶理町町民生活課		団扇	1	11
25	亶理町企画課		復興「ありがとう」ホストタウン関連資料	3	10
26	亶理町生涯学習課		第32回オリンピック競技大会関連資料	7	20

3. 移管資料

No.	資料名	移管元	品目	点数
1	東京2020大会スーベニアチケット	亶理町生涯学習課	1	1

4. 購入資料

1品目 1点 東京2020公式アートポスター「flowline 動線」大原大次郎

5. 採集資料

1品目 2点 マンホールカード(宮城県亶理町)

〔2〕 寄託資料

亶理忠儀記(亶理町指定文化財)	上町 菊地家 所蔵
伊達政宗書状(伊達宗実あて)ほか 2点	武田信一・厚志 氏 所蔵
額入資料3点・木箱資料32点・袋入資料78点	岡元継男 氏 所蔵
脇差1点・刀1点	東條勝雄 氏 所蔵
刀2点	武者 司 氏 所蔵
幣帛覚帳3点・取子人名記1点	陰山俊明 氏 所蔵
享保雛1対・脚付膳2点ほか 41点	山形節子 氏 所蔵
伊達政宗書状 五郎(伊達成実)宛て	個人 所蔵

〔3〕 常設展示借用資料

No.	資料名	所有者名	数量	借用期間	借用理由
1	志賀家文書	志賀道義	378	H5.7.18～	亙理伊達家コーナー展示、調査研究

〔4〕 資料貸出

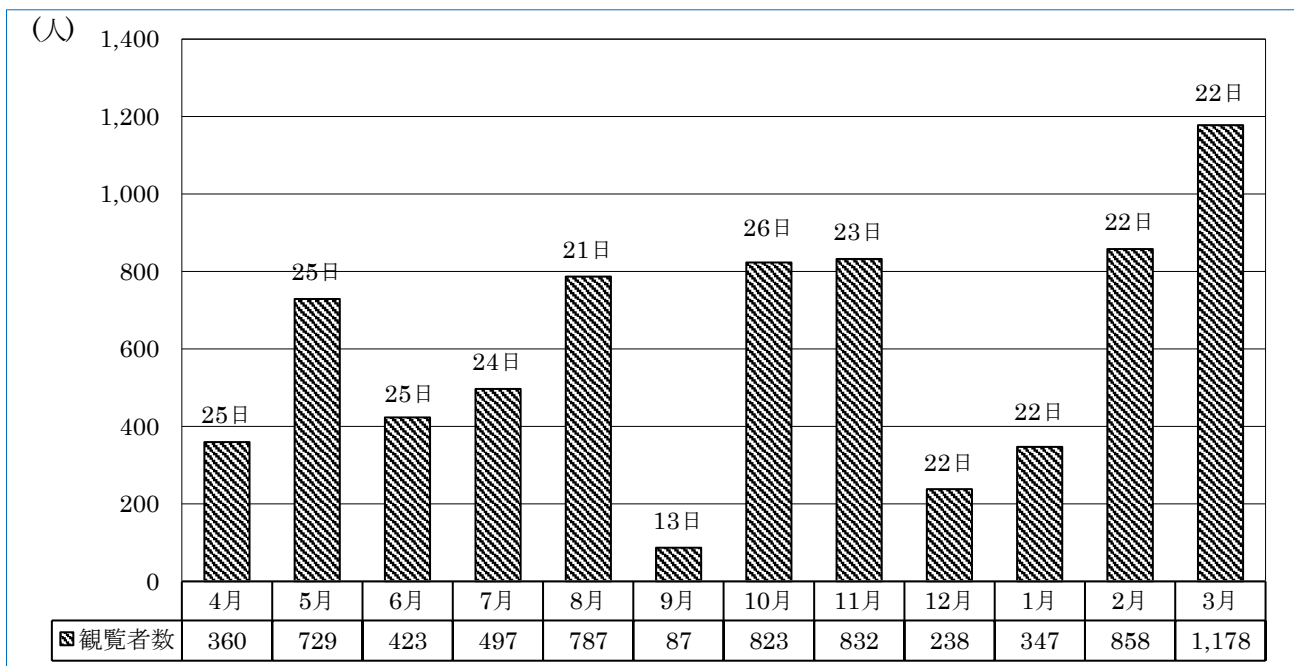
6件 11点

No.	貸出先	目的	資料名	点数	貸出日・期間
1	株式会社東日本放送	「チャージ！」 番組内で使用	亙理町並みの写真	4	5.23
2	亙理保育所	稲の脱穀で使用	足踏み脱穀機	1	10.14～10.15
3	個人	研究論文作成で使用	武者家米蔵の写真	1	11.29
4	株式会社東日本放送	「チャージ！」 番組内で使用	海苔養殖の写真	1	R4.2.1
5	個人	引継ぎ資料作成で使用	「樹海を拓く」の写真	3	R4.3.8
6	岩沼市教育委員会	岩沼市史への掲載で使用	荒浜港の写真	1	R4.3.11

6 観覧者数の推移

〔1〕 令和3年度月別観覧者数

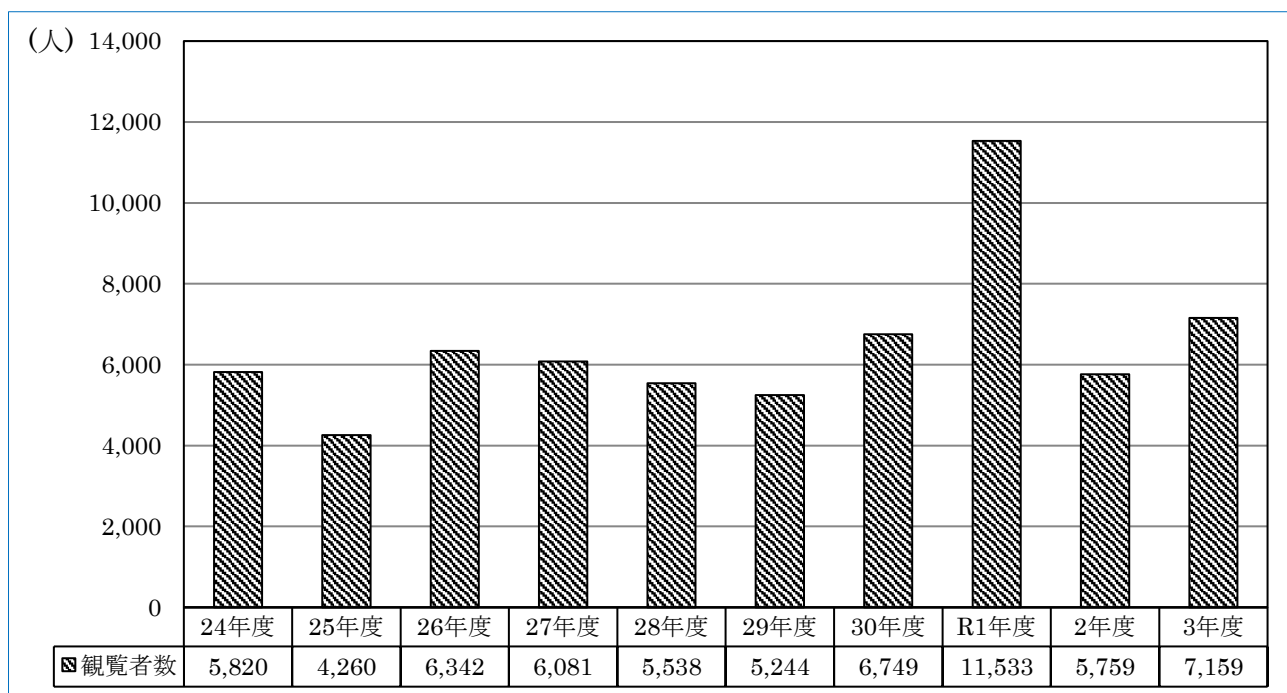
総観覧者数：7,159人（開館日数：270日 1日平均27人）



〔2〕 年度別観覧者数

開館からの観覧者累計：215,931人

平成24年度～令和3年度観覧者数の推移



7 予算

郷土資料館費

予算額 10,496,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

8 職員名簿

【令和3年4月1日～令和4年3月31日】

職名	氏名	就任期間	備考
館長	齋藤 伸	R 2. 4. 1 ~ R 4. 3. 31	
文化財班長	武田 恵美	H24. 4. 1 ~ R 4. 3. 31	学芸員
主幹兼副班長	鈴木 朋子	H18.10. 1 ~ R 4. 3. 31	学芸員
主事	橋本 和樹	R 1.10. 1 ~ R 4. 3. 31	
技師	森田 健太郎	R 3. 4. 1 ~ R 4. 3. 31	学芸員

9 利用案内

〔1〕 開館時間

午前9時から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)

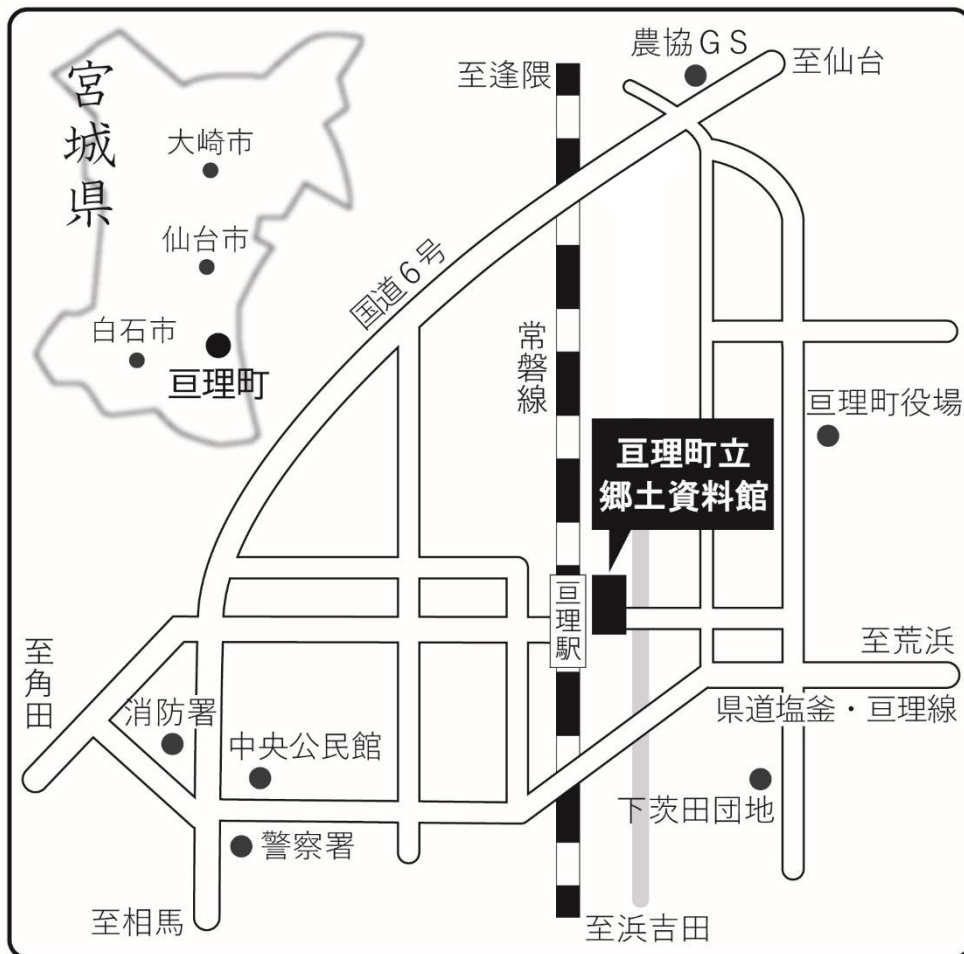
〔2〕 休館日

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日(一部特別開館日を除く)
- ・館内整理日(毎月最終金曜日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)

〔3〕 観覧料

- ・常設展示 無料(平成31年4月2日～)
- ・特別展示等 1,000円以内でそのつど定めた額

〔4〕 位置図



亶理町立郷土資料館年報 第24号
令和3年度

令和4年7月発行

編集・発行 亶理町立郷土資料館
〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字西郷140番地
TEL(0223)34-8701
FAX(0223)34-8709
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp
